

# (3) 吸入の終了

1 SPフローの調整ハンドルを「閉」に合わせてください。



2 酸素出口ノズルに接続されたカニューラを外します。カニューラは清潔にし、保管をしてください。



## カニューラのお手入れ

鼻に直接装着する部分は特に汚れがたまりやすい為、こまめに洗いましょう。



© 2019 Philips Japan, Ltd. PN 1122545/190610 R4-W

## 携帯用酸素ボンベ／呼吸同調器／流量調整器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡下さい。お問合せの際は、お名前・ご利用の機器名・かかりつけ医療機関名・取扱業者名などを必ずお伝え下さい。

製造販売業者  
株式会社医器研

販売業者 **株式会社フィリップス・ジャパン**  
〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル  
www.philips.co.jp/healthcare  
睡眠・呼吸製品のお問い合わせは地域の事業所まで  
※各事業所の連絡先は以下のURLで公開しています  
www.philips.co.jp/SRC-Office

■ かかりつけ医療機関名

■ 機器のトラブルは...24時間対応、安心の技術サポート  
平日9:00~17:30 地域営業所・出張所・駐在

■ 酸素のご注文先

夜間・土日受付 営業所・出張所・駐在の対応日・対応時間外 受付  
機器安全センター **0120-633-811**



# 携帯用酸素ボンベ／流量調整器 (SPフロー) 呼吸同調器 (SPセーブ) の使い方

※本書は取扱説明書にかわるものではありません。必ず正式な取扱説明書をご覧ください。

SPフロー 医療機器届出番号: 11B1X00004000001 SPセーブ 医療機器承認番号: 22600BZX00385000

酸素はおくすり! 医師の処方量を必ず守りましょう。

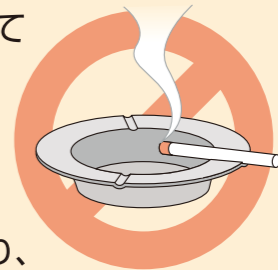
酸素をきちんと吸うことで心臓の他、あなたの臓器が、守られます。酸素はおくすりと同じで、体に必要な量をおぎなう為に処方されています。しかし「息切れ」は必ずしも酸素不足だけが原因で起こるものではありません。「息切れ」が強いからといって勝手に酸素流量を変えてはいけません。

**⚠️ 火気からは2m以上離れてご使用下さい。**

酸素自体が爆発したり、燃えたりはしませんが、燃えているものをさらに燃えやすくする性質があります。

とくに、**たばこは厳禁!**

酸素吸入しながらたばこを吸うことは、健康面からも絶対にやめましょう。カニューラに引火することもあり、大変危険です。



## 各部の名称

酸素出口ノズル

チューブ接続口

保護カバー

流量調整ダイヤル



SPセーブ

圧力計



SPフロー

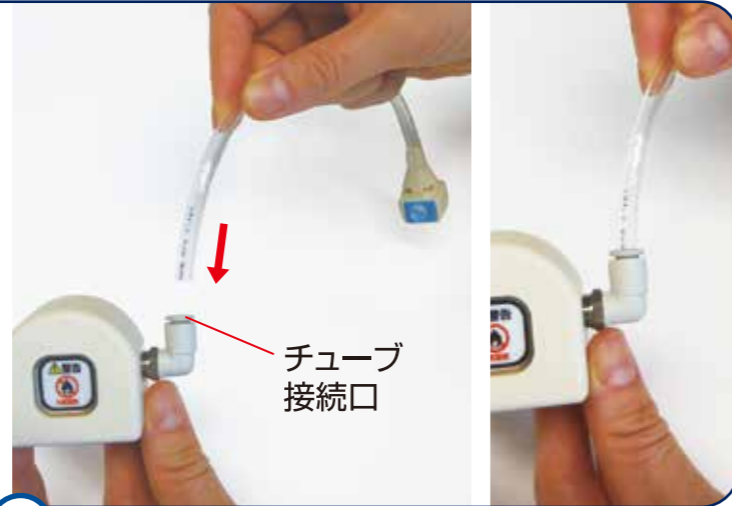
接続チューブ



# (1) 吸入の準備

1 SPセーブのチューブ接続口に付属品の接続チューブを差し込みます。

**確認** 接続チューブを軽くひっぱり抜けを確認してください。



2 充填済みの酸素ボンベに取り付けられたSPフローの酸素出口ノズルに**接続チューブ**を接続します。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

**確認** 接続チューブを軽くひっぱり外れないことを確認してください。接続チューブは傷や破れ、折れ曲がりがないことを確認してください。



3 カニューーラを酸素出口ノズルに差し込みます。

**確認** カニューーラを軽くひっぱり抜けを確認してください。



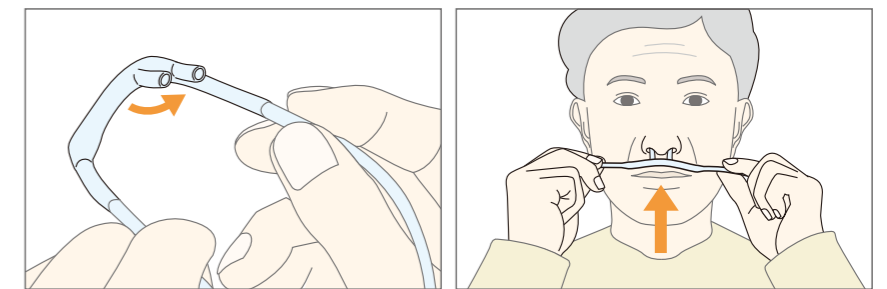
# (2) 吸入の開始

1 SPフローの調整ハンドルをゆっくりと回し、主治医の処方に従った流量に設定してください。カニューーラを装着し、酸素吸入を開始してください。

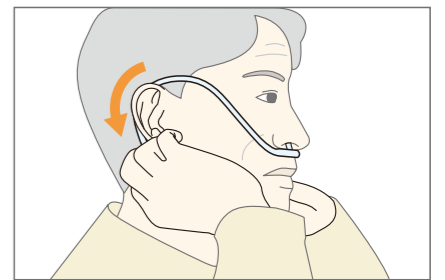


## ● カニューーラの使い方

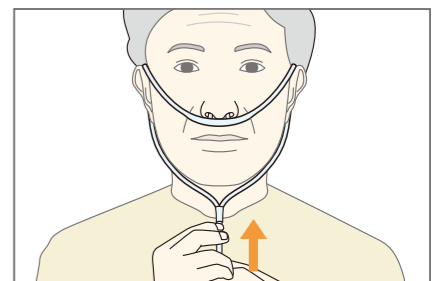
1 カニューーラの方角を確認し、鼻孔に装着します。



2 左右の耳にカニューーラをかけます。



3 ストッパーを上げます。



⚠ 使用前に必ずチューブの点検を行ってください。